
KOKOROが問題
あきかん個人誌
サークルくれじっと
ADULT ONLY


KOKOROが問題



～前書き～

チワワっす、あきかんっす。
今回の本は『ケロロ軍曹』の18禁です！
一ちなみに
知人に「ケロロでエロ描く」って宣言したら
「ケロロ×ギロロ本？擬人化ヤオイ？」
って言われました。3人くらいから。
一その流行は知らない一。

ともあれ、ＦＦ１１本かソレ以外で
ネタを考えていたのですが
最新刊が重版された『ケロロ軍曹』を見て
「一ヤっちまうか一発一？」と気分高揚し
今回のケロロ１８禁本となりました。

もともと吉崎観音先生の描く女の子の
『コミックタッチなのに生々しいエロさ』に
感化されまくっていたのですが
ここ数年の夏美のパンツ色気の上昇っぷりには
辛抱が堪らなくなりました。えぇ。
きっと数年後には現在のキッズの
「初めて性を意識させたキャラ１位」かと。

んで、絵柄も可能な限り似せた同人誌を一と
頑張って描いたのですが
この文章を書いてる時点で
８０％完成している原稿を見返した結果
「言うほど似てない」と自覚。
元アニメーターなのになぁ　鬱。

まぁ、それでも同人誌化されて読んでもらえれば
俺が夏美に感じた「モヤモヤした欲望」を
共有して頂けるかもしれませんね。

んじゃ、そゆ事で！

関係ないけど…夏美もエロいがモア殿もエロい…
でも１番エロいのは小雪殿だと思うのですが、ご賛同得られますかね？
（じゃあ、小雪のエロ漫画を描けばイイのに）



ちなみに、このページのイラストは表紙の次に描いたので　余計に慣れてなくて似ていないなぁ


穏やかな日曜の昼下がり～ ここ日向家では
地球侵略の為にやってきた宇宙人との戦いが日常レベルで繰り返されていた
仮想戦争とはいえ全力を尽くすのが宇宙での礼儀でありますからな～
そして勝つのは我輩！
ヒュッ
冬樹ぃ～
ごめん今日の当番代わってて？
ええ～？
僕、今日はのんびりしようと思ってたのにぃ～
軍曹ぉ～強化アイテム一人で全部取らないでよ～
ゲロ！協力プレイでも個人技が光る！
我輩には このコントローラーは大きすぎるのでハンデであります！
ガガガ


小雪ちゃんが一人で買い物は心細いって言うからサ
否！断じて否であります！
自分が小雪殿と遊びたいが為に勝手なルール改正
夏美がモア殿と当番を交代した時はそりゃヒドイ目に合わされた事は記憶に新しい
そういう事なら！
だんっ
今日だけ！ちゃんと次の冬樹の当番の時代わるわよ
それなら我輩だってモア殿の代わりをちゃんとするであります！
日向家の家事担当でないモアちゃんの手伝いって
ズ…
何？
ずわっ
それは えーと
地球侵略と秘密基地の運営に携わる軍事雑務


ガー…
目下の者からの命令とは言え
男が女に従順な姿は情けないぞ！
仕方ないよ姉ちゃんには逆らえないし
ママの負担を減らす為に家族で助け合わなくちゃ
ガー
俺には争いを恐れ自尊心に実直てフタをしているように見えるがな
こんな事でムカついたりしないよ
思えば貴様も我々の障害の1つだな
え？
敵対勢力に自分達の文化を刷り込み懐柔する
もっとも効率が良く利口な戦略だ
ケロロの奴は見事なまでに術中にハマったが俺には通用せん！
そんな…人聞悪だよ



確かに貴様はニヤニヤ笑いながらくだらんゲームをしていただけだ…
軍曹からも何か言ってよぉ
ムヒョオ!
ちょっと待って! 今、かつて無い程調子良いのヨ!
そこに俺が口出しする理由は無い
実に狡猾な作戦だ
そう言えばタママも
ドロロも
ペコポン文化に毒されている…!
すでに事態は危険な段階にまで発展しているのでは…?
ちょんちょん
クークックック
水くせぇなぁ 悩み事なら相談に乗るぜェッ
むぅ…
『妄想電話箱』…?
そう
無限に存在する平行世界の中から設定条件に近いモノを検索し映像を受信する
まぁ早い話が都合の良い夢を見れる機械ってヤツ?


良い夢だと？くだらん！
俺が欲しいのは現実での揺ぎ無い戦果だ！
つれねェ事言うなよ
コイツの性能を試す被験者が欲しいんだ
!?
こ…コラ！何をする！
バタン
危険な事は何も無いぜ
被験者の脳波を検知し近い波動の平行世界に接続するだけさ
ただ俺の脳波だと思考が偏るんで似たような世界ばかり出やがる
ギロロ♥
な…夏美!?
オイオイいきなりコレかよ…っ
す…貴様にも見えているのか…!?
バッチリ


出て行け！
人でお楽しみって訳かい…？
ま、せいぜいボコペン攻略のヒントでも探してくれ
ーーーつだけ訂正するがな
ーソイツが見せているのは夢じゃネェゼ
ココではない何処かの現実だぜェ…
チ 接続が切れたか・
あんな世界もあるんだな
夏美
夏美！
虚中で目覚めた淫夢の続きを求めるかの様な思考操作
夏美ー
ねぇ冬樹い…
起きてる…？
姉ちゃん？
うん これから寝るところ
今日もママ仕事で戻らないんだって・
だからさ…今夜も一緒に寝てもイイかな…
カチャ


姉ちゃん…
…ん!?
恥ずかしいよ…
僕…また…
なっ…!?
何言ってるのよ
今日は私も気持ち良くしてよぉ?
昨日…
昨日は最後まで出来たんだから…
ほら…
コ〜ゴ〜
貴様等…何をやっているんだ〜


昨日…僕達とうとう最後までしちゃったんだね
ん…今さら…何言ってんのよ
小さい頃…僕が姉ちゃんのベッドに潜り込んだのが最初だっけ…
うん…夜に窓に映った木の陰が幽霊に見えて…
って思い出を語りながらナニしてるんだ！
ビクン
ハァ
そうよ…冬樹ったら初めての一人部屋が怖かったのよね
うふふ あの頃の冬樹は可愛かったなぁ
私の胸にしがみ付いて震えてたっけ


「オバケなんていないよ」
「アレは木の枝が風で揺れてるだけだよ」って
それで冬樹はオカルトに興味が出たんだっけ
うん・
僕が一人で眠れるようになってからは
今度は姉ちゃんが逆に僕のベッドへ潜り込むようになったんだよね
ピクン
あ～アンタが覚えたての怖い話ばっかりするせいでしょっ
それに 急にベッドが広く感じちゃって
胸に冬樹の感触が無いと落ち着かなくって
姉ちゃんの胸好きだな
大きくて柔らかくて… イイ匂いがする
ず～と冬樹のオモチャにされてたからね
ホントにママみたいになっちゃうかも


横になって…
口でしてあげるから…
うん
…ココももう少ししたら手に負えなくなるのかな?
姉ちゃんっ
んん…
ふっ…
ジュル
ぐいっ
ひゃっ
その気になってきた?
うん…
だってスタイル抜群の姉ちゃんが裸で目の前にいたら…!
自慢じゃないけどクラスの友達にもバランス良いって憧れられちゃってね


学校でもサ
姉ちゃんの事
聞いてくる
男子が
イチィ！
他の男の子
話題なんか
聞きたくない！
ギュ
くちゅ
私は冬樹が
一家族だけ
いればイイ
姉ちゃん！
じゅぷ
じゅぷ
んっ
ホ・ホラ！
入れてスグに
終わらない様に
出しちゃって
ハァ
ハァ
ん
あぁっ
う、うん
もう…
冬樹…
殺す！


うぅ
ごめん!! やっぱコレ飲めないわ
いやぁ… そ〜ゆ〜の僕また興味無いから
男の人って飲んでもらうの好きなんでしょ
そ そぉ…
だけどコッチはわかるわよね?
昨日みたいに入った途端に終わらないでよ
やめんか! 実の姉弟同士で生殖行為など…
ちゅぷっ
まっ 待て…!
うわ… 姉ちゃんっ
ど〜努力はするけど
ブチ
スベる〜よ〜
ズリュリュ
ズリュ



姉ちゃん？
ごめんね冬樹ぃ…
本当はこんな事イヤだよね・
寂しいのは嫌い
冷たいベッドも嫌なの…
冬樹が小さい頃おばあちゃんの家で暮らしてた時期があったじゃない…
あの時から駄目なのよ
ママは仕事で家に居ないし…
私には冬樹しかいないの…
・・・・
！姉ちゃん動かすよ
ピクン
えっあん
夏美？
ハァ
ハァ
ハァ
ちょ冬樹っ
激し過ぎるっ
あんっ
くふっっ


姉ちゃんのナカ… すっごく気持ちイイよ…
姉ちゃんも気持ちイイ？
うん イイよぉ 気持ち良くって あったかくって 安心するぅ
二人で体をこすり合えばあたたかくなれる この暖かさだけを感じていればそれで良いんだ
冬樹 冬樹いっ
だから今は何も不安に思わなくて良いんだよ


夏美…
ああっ・・・
ぞくぞく
ドクーン
あったかいの溢れてきた!
コレだって命なのにね—
ドロ
コレ全部を助ける事は出来ない
消えていく私達の家族!
ハァ
姉ちゃん!!
宇宙人が—本当にいたら
ハァ
え?


宇宙人が攻めてきて全部壊してくれれば
良いのにね…
みんな一緒に消えちゃうなら寂しくないもん
そうだね…
む　ココは…また様続が変わったか
ハァ
ハァ
何故そんなに苦しそうに…
ハァ
ハァ
何かに追われているのか？
ハァ
ハァ
ハァ
ハァ
この世界に俺がいれば一人を助けてやれるものを



おおっと！
ソコまでだ
抵抗するなよ
ヤレヤレ…
発射後は即死じゃなかったのか？
クルルめ
女の方は発射しているようだが
俺か!?
…これでは弾がいくつあっても足りんな
ほぉ…
逃げずに仲間を守るか
ハァ
ハァ
見かけによらず勇敢な少年だな
…だが
ピン
「抵抗するな」と…警告しただろう？
我がケロン軍は命令に逆らう者に容赦はしない！
まっ待て…！


ココではない
何処かの「現実」…


軍曹ぉ～ 僕にもアイテム 少し残してよぉ～
ケロケロ！ 戦いに情けは 無用なので あります！
あ
ギロロ これは別に タダのゲームで
…いいんじゃ ないか？
え？
確かに 俺と貴様は 敵同士だ―
しかし 「その時」が 来るまで―
こんな日々も 悪くない


俺は今まで 個人の戦闘力を 重視してきたが
自分一人だけ 生き残っても 意味が無い
日常も戦場も 剣が陣を守り 陣は剣を守る―
「その時」にも 頼りになるのは 案外 冒険のような 奴かも知れんな
一つ俺にも 教えてくれないか？ そのゲームを
もちろん！ お安い御用だよ ギロロ！
ケ～ロケロリ！
本当は自分も 遊びたかった だけじゃないの？
今から覚えたって 最強モードの 相手には通用しない であります！
ゴゴゴゴ
掃除機かけるから 電源使うわよ
ブツッ
最強モード 消失。


カチッ
カチッ カチッ
ク～ククック…
…履歴を残しておくとは迂闊ってモンだな！
ドコを覗いて来たのかバレバレだぜぇ～？
カチ…
ボコペンの近親相姦モノか
…ギロロ先輩もイイ趣味してるぜ
こいつをソフト化すりゃあ当面の資金にゃ困らネェんだが！
まぁこんな
RPLAY
その手のマニアを悦ばせるのも趣味じゃネェしな！
ク～ククック…

正しい一攫千金

（「冬樹が桃華に片思いの世界」での
悲しく寂しい夜の写真三枚セット
ポコペン通貨で壱百億円也。）



おくづけ

発行日　2005年　12月 30日
発行　サークルくれじっと
印刷所　しまや出版　様
連絡先　[illegible]



サークル
くれじっと